

様式第1号（第2条関係）

（表）

市営単独住宅入居申込書	団地名		受付番号	抽選番号													
	〇〇団地 〇棟〇号																
宇土市長 様																	
〇〇年 〇月 〇日																	
下記の「4 記載上の注意」を確認し、同意の上、申し込みます。また、虚偽があった場合は、この申込書を無効とされても異議を述べません。																	
1 申込者																	
ふりがな	うと たろう		生年月日	昭和50年 1月 1日													
氏名	宇土 太郎																
現住所	電話番号																
2 入居すべき世帯員明細（別居中の扶養親族を含む。）																	
個人番号		氏名	生年月日	続柄	同居・別居の別	扶養・被扶養の別	職業及び勤務先										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	宇土太郎	S50.1.1	本人	同居	被扶養	会社員
2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	花子	S51.3.3	妻	同居	扶養	無職
3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	一郎	H10.5.5	子	同居	〃	会社員
4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	次郎	H25.7.7	子	同居	〃	小学生
												宇土ひろし	S25.10.1	父	別居	〃	無職
3 住宅困窮の現況（該当する番号に○印を記入してください。）																	
<p>(1) 住宅以外の建物又は場所に住んでいる。</p> <p>(2) 保安上危険又は衛生上有害な状態の住宅に住んでいる。</p> <p>(3) 他の世帯と同居して生活上著しく不便である。</p> <p>(4) 住宅がないため親族と同居することができない。</p> <p>(5) 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上又は風教上不適当な居住状態である。</p> <p>(6) 正当な事由による立ち退き要求を受けているが、適当な立ち退き先がない。</p> <p>(7) 勤務先から著しく遠隔地に住んでいる。</p> <p>(8) 収入に比較して現在著しく過大な家賃の支払を余儀なくされている。 ※家賃_____円</p> <p>(9) 婚約が成立しているが住宅がないため婚姻が延びている。</p> <p>(10) その他 ( )</p>																	
4 記載上の注意																	
<p>(1) 入居申込書に虚偽の記載があったときは、いかなる理由があっても無効となりますので、正しく記入してください。</p> <p>(2) 入居申込者の中に暴力団員等がある場合は、申し込むことができません。また、入居申込者が暴力団員等であるか否かを確認するため、警察に照会する場合があります。</p> <p>(3) 住所及び連絡先が変更になった場合は、必ず連絡してください。入居の順番が来ても連絡が取れない場合は、入居申込みを取り消します。</p>																	

該当する記号に○を付けて下さい。

